

電動車部品の需要急拡大への対応 ～岐阜工場 パワーカード用リードフレーム第2ライン竣工～

愛知製鋼株式会社（代表取締役社長：藤岡高広）は、岐阜工場（岐阜県各務原市）において、パワーカード[※]用リードフレームの第2ラインを建設し、本日竣工式を執り行いました。

HVやEVなど、電気を動力とする車には、モータの電力制御などを行うパワーカードが搭載されており、リードフレームはパワーカードを構成する必要不可欠な放熱部品です。当社では、電動化の加速度的な進化に対応するため、リードフレームを扱う電子部品事業を、スマートカンパニーの基幹事業の一つと位置づけ、お客様からの需要増と製品技術の高度化ニーズに貢献すべく取り組んでいます。

今回竣工した第2ラインは、4S（Simple、Slim、Short、Straight）にこだわり、生産性を2割向上させた一貫自動ラインで、更なる需要の増加を見据え、形状の多様化や量の変化に柔軟に対応しながら、多品種の製品を高品質かつタイムリーに生産できるライン設計となっています。

これにより、岐阜工場の生産能力は、2018年に設置した生産ラインと合わせて2倍となり、知多工場を含めた当社全体のリードフレームの生産能力は2017年比で約3倍となります。

そして、生産能力向上および二拠点化によるBCP（事業継続計画）対応により、お客様によりいっそうの安心と信頼をお届けできる生産体制となります。

今後も当社は、次世代車や自動運転支援技術など、拡大する市場への継続的な投資を実施し、人と環境に優しい次世代モビリティの実現に貢献していきます。

1. 岐阜工場第2ラインの概要

- （1）所在地： 愛知製鋼株式会社 岐阜工場内（岐阜県各務原市鵜沼大伊木町3丁目36番地）
- （2）生産品目： パワーカード用リードフレーム
- （3）生産能力： 180万個／月（車両6万台／月分） 岐阜工場全体で360万個／月（車両12万台／月分）
- （4）投資額： 約15億円

2. 参考

2018年11月7日付ニュースリリース「[次世代自動車部品の生産能力増強と二拠点体制確立](#)」

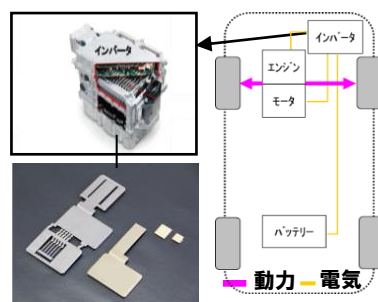
※ パワーカード： パワー半導体が複数セットされたカード型のパワーモジュール。車1台に複数枚が使われている。



プレス加工ライン



めっき処理ライン



リードフレーム使用部分
(HVの場合)